

設備工事情報シート	電気	Ⅱ-E-13	制定	2014年2月1日
			改訂	
Ⅱ. メーカー情報	ケーブルの防火区画貫通部の処理 (プチロクワイド)		古河テクノマテリアル編	

1. 目的・概要

ケーブル・配管等が防火区画の壁・床を貫通する部分には、定められた耐火性能をもった防火措置を行うことが義務付けられている。これらの防火措置工法は、メーカーや工法毎に施工上のポイントが異なる。

以下に、(株)古河テクノマテリアルのケーブル防火区画貫通措置工法（プチロクワイド）を紹介する。

2. 製品（プチロクワイド）の特徴

(1) 簡易施工

2分割型樹脂スリーブの内側に熱膨張材を組み合わせてあり、開口部に納め、残った隙間を耐熱シール材で埋めるだけで施工完了。

(2) 容易な再通線

プチロクワイドを開口部に納めたまま、耐熱シール材をはぎ取り、ケーブル・配管等の張替えが可能。再通線作業の終わりに、耐熱シール材で隙間を埋めて施工完了。

(3) 広い適用範囲

RC造の壁・床をはじめとして、ALC造や石膏ボード壁にも適用できる。

ケーブルと合成樹脂製可とう電線管の混在可

(4) 環境に優しい

ハロゲンフリー材料で構成されているため、火災時にハロゲン系ガスやダイオキシンなどの有害物質を発生しない。

(5) 耐火性能

国土交通大臣認定を取得。

3. 施工手順およびポイント

(1) 施工前確認

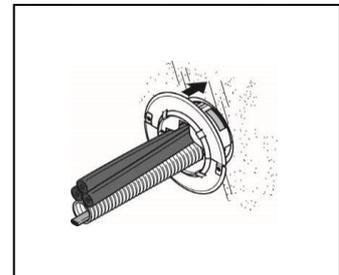
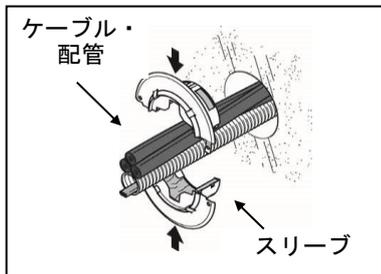
貫通するケーブル類が適正な範囲内にあるか確認。

(2) 樹脂スリーブの取り付け

ケーブルを挟んで鋼製化粧付スリーブをはめ合わせる。

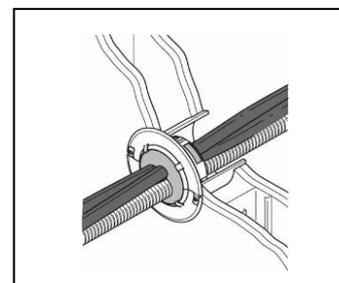
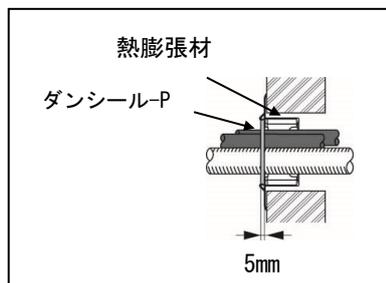
(3) 開口部への設置

はめ合わせたスリーブを開口部へ挿入



(4) 耐熱シール材の充填

ケーブルと樹脂スリーブの断熱シール材（ダンシール-P）を厚さ5mm以上充填し、隙間の無いことを確認して施工終了。

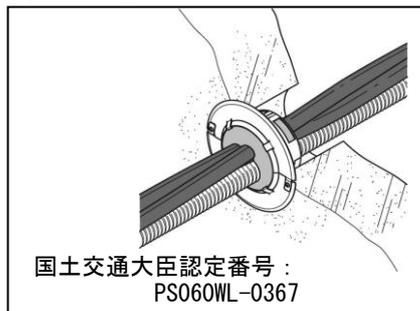


※中空壁の場合：
厚さ0.25mm以上の鋼製枠の設置

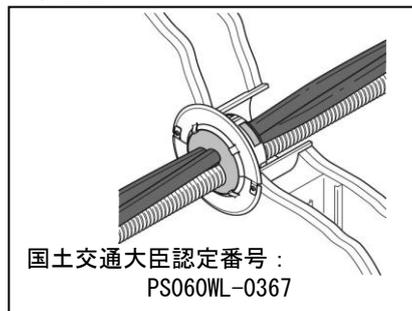
資 料

4. 工法別施工断面図

(1) 一般壁工法

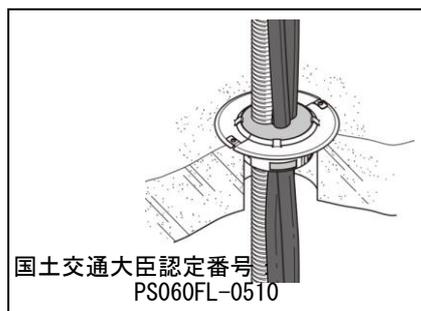


(2) 中空壁工法



※中空壁の場合：
厚さ0.25mm以上の鋼製枠の設置

(3) 床工法



5. 認定条件

部位	種類・認定番号等	認定条件
貫通部	ケーブル貫通部 一般壁・中空壁 大臣認定番号：PS060WL-0367	①最大開口寸法：φ100mm（φ75用およびφ100用の2品番） ②最大適用可能ケーブルサイズ：150mm ² （導体サイズ） ③最大適用可能合成樹脂製可とう電線管（PF管）：呼び径28 ※ケーブルと合成樹脂製可とう電線管との混在可 ③最大占積率：44% ④壁の構造：鉄筋コンクリート・ALC壁 厚さ80mm以上 中空壁 厚さ80mm以上 ⑤施工方法：片側施工
	ケーブル貫通部 床 大臣認定番号：PS060FL-0510	①最大開口寸法：φ150mm（φ75用・φ100用・φ125用・φ150用の4品番） ②最大適用可能ケーブルサイズ：250mm ² （導体サイズ） ③最大適用可能合成樹脂製可とう電線管：PF管呼び径36・CD管呼び径28 ※ケーブルと合成樹脂製可とう電線管との混在可 ④最大占積率：35.4% ⑤床の構造：鉄筋コンクリート・ALC床 厚さ100mm以上 ⑤施工方法：片側施工

6. 問い合わせ先

㈱古河テクノマテリアル

部 署	TEL	FAX	URL
本社 防災事業部	0463-24-9341	0463-24-9346	http://www.fitec.co.jp/ftm/